

ポスター発表プログラム

学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる
技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りします。

発表日程 奇数番号：7月3日(火)、偶数番号：7月4日(水) (ハイフンの後の2ケタ 数字)

ポスターセッション1

除染技術、除染事例、計測技術

P1-01	福島県富岡町における住居周辺の表層土壌の除染効果	○平良文亨 1, 松尾政彦 1, 折田真紀子 1, 井出寿一 3, 若津美 4, 山下俊一 2, 高村昇 1 (1 長崎大学原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野, 2 長崎大学学長特別補佐, 3 公益財団法人原子力安全研究協会, 4 福島県富岡町役場)
P1-02	有機酸により活性化された土壌微生物発酵によるセシウム抽出効果とその再賦活化	○村上英樹, 菊地良栄(秋田大学大学院理工学研究科), 上島雅人(国立環境研究所), 榑政敏, 吉原泰夫(株式会社NSE), 二木 健(株式会社アトックス)
P1-03	ガンマ線画像分析装置による空間線量率イメージング(2)	○伊藤浩史・中村龍平((株)堀場製作所)
P1-04	粘土鉱物のCs _s 吸着および溶出特性に及ぼす熱処理温度の影響	○池上麻衣子・黒木健臣・福谷哲・米田稔(京都大学)
P1-05	放射性物質測定に用いるカスケード型ICP-MSの前処理法のための均一液液抽出(HoLLE)の検討	○佐々木尚也・大平佑梨香・押手茂克・青木満里奈・菜花麻衣・海藤育未・諏江なつき(国立高専機構福島高専)
P1-06	ベントナイトとポリイオンコンプレックスを利用した森林セシウムの自然集積除染	○相澤雄介 1, 安食貴也 1, 長洲亮佑 1・2, 田邊大次郎 2, 塚塚 2, 田部智保 3, 熊沢紀之 1 (1 茨城大院理工, 2 熊谷組, 3 テクノス)
P1-07	水試料中放射性セシウム濃度の測定に係るクロスチェック(中間報告)	○山本貴士・竹内幸生・千村和彦・新井裕之・大迫政浩((国研)国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)
P1-08	汚染土壌のマイクロ波処理による脱セシウム化機構の研究	○山岸皓彦 1・2, 田村堅志 3, 山下浩 4, 佐藤久子 4, 森田昌敏 1(1 環境測定品質管理センター, 2 東邦大医, 3 物材機構, 4 愛媛大院理工)

ポスターセッション2

陸域海域の汚染

P2-01	愛知県内の土壌中における環境放射能調査	○渡辺研(愛知県環境調査センター), 日比野啓一(愛知県環境部環境活動推進課), 熊谷禎晃・森一耕(愛知県環境調査センター)
P2-02	福島県内における立木放射性セシウム濃度分布の地域特性について	○山村充・氏家亨・一條香奈恵・三瓶和法・九石公道・野口忠宏・熊井直也(国土防災技術(株))
P2-03	山火事が森林内放射性セシウムの動態に与える影響	○氏家亨・山村充・一條香奈恵・九石公道・野口忠宏・三瓶和法・熊井直也(国土防災技術(株))
P2-04	福島県内森林立木の部位別放射性セシウム濃度と空間線量率との関係性	○一條香奈恵・氏家亨・山村充・野口忠宏・三瓶和法・九石公道・熊井直也(国土防災技術(株))
P2-05	放射性セシウムの森林土壌中鉛直移動特性の検討	○下川諒・米田稔・島田洋子(京都大学工学研究科都市環境工学専攻), 颯田尚哉(岩手大学農学部), 菅原大輔(岩手大学農学部附属寒冷フィールド教育研究センター)
P2-06	森林渓流水中の溶存態 ¹³⁷ Csの流出挙動	○佐久間一幸・吉村和也((国研)日本原子力研究開発機構)
P2-07	灌漑水用貯水池における放射性物質蓄積挙動の把握	井倉将人(農研機構農業環境変動研究センター)
P2-08	ダム湖底質とその流域土壌を対象とした放射性セシウムの溶出特性	○西村直美・森定真健(立命館大学院・理工学研究科), 佐藤圭輔(立命館大学・理工学部)

ポスターセッション3

食の安全、廃棄物対策、最終処分

P3-01	バリウム系放射性ストロンチウム処理資材	○大石徹(日鉄住金セメント), 高橋嘉夫(東京大学), 徳永紘平(日本原子力研究開発機構)
-------	---------------------	---

P3-02	福島県飯館村の水田及びその周辺部の放射性セシウム分布について	○上田義勝(京大大学生存圏研究所), 二瓶直登(東京大学大学院農学生命科学研究科), 谷垣実(京都大学複合原子力科学研究科)
P3-03	建造物等の表面汚染の時間変化について	○山田正人・新井裕之(国立環境研究所), 立尾浩一・大塚弘幸(日本環境衛生センター), 吉田博文(福島県環境創造センター)
P3-04	放射能高濃度汚染地区の河川を用水とする水田の汚染の状況	○上野大介(佐賀大学・農学部), 水川葉月(北海道大学・獣医学研究院), 長坂洋光・水谷太・苜木洋一(いであ(株)・環境創造研究所), 相場俊樹(東京大学・医学系研究科), 大葉隆(福島県立医科大学), 西浜柚季子(国立環境研究所), 龍田希・仲井邦彦(東北大学・医学系研究科)
P3-05	土壌混入焼却灰などからの放射性Cs溶出率簡易推定法の開発	○加藤遼・米田稔・島田洋子・福谷哲・池上麻衣子(京都大学), 瀬戸内大樹(環境省)
P3-06	福島県内の農地における放射性物質に関する研究—林縁近傍におけるコマツナ栽培の安全性の実証—	○矢ヶ崎 泰海 1, 齋藤 隆 1, 佐藤 睦人 1・2 (1 福島県農業総合センター浜地域農業再生研究センター, 2 (現所属)福島県農林水産部農業振興課)
P3-07	焼却主灰における放射能汚染粒子のEBSDによる鉱物相解析	○藤原大 1・2, 倉持秀敏 2, 森重敦 3, 羽染久 3, 大迫政浩 2 (1 (株)神鋼環境ソリューション(現在), 2 (国研)国立環境研究所, 3 中間貯蔵・環境安全事業(株))
P3-08	土壌や廃棄物中の放射性セシウムの最終処分型への化学的変換の試み	○大橋弘範(福島大理工), 神谷奈津美・横森慶信(防衛大応化), 上原康滋(横須賀市産業振興財団)

ポスターセッション4

環境再生・復旧・復興

P4-01	籾殻燻炭の施用が有用微生物群(EM)による放射性Csの農作物への移行抑制に及ぼす影響	○奥本秀一 1, 新谷正樹 1・2 (1 (株)EM 研究機構, 2 東京女子医科大学循環器小児科)
P4-02	(欠)	
P4-03	避難指示区域内の溪流内に堆積した水底落葉からの放射性Cs溶脱について	○川上拓磨・中里亮治(茨城大学広域水圏環境科学教育センター), 苅部甚一(近畿大学工学部)
P4-04	(欠)	
P4-05	除染後の効果持続性の確認及び今後の空間線量率変化の予測	西内征司・○鈴木聡(福島県環境創造センター), 川瀬啓一・渡邊雅範・山下卓哉((国研)日本原子力研究開発機構福島環境安全センター)
P4-06	楡葉町天神原湿原の再生	○五十嵐省一・中野政仁・丸山正・平野篤(東京電力ホールディングス(株)福島復興本社), 坂本和也・渡辺信彦(福島県楡葉町), 馬場淳(東京パワーテクノロジー(株))

ポスターセッション5

減容技術

P5-01	溶融状態の混合FSI塩を用いた汚染土壌処理	○佐藤駿・星野将宏・佐藤理夫(福島大学), 天野倉夏樹・坪倉史朗・岡戸俊明(日本曹達)
P5-02	常温乾式磁力選別システムによる除染土の高速分級特性	○佐藤友祐・中島春介(三和テッキ株式会社)・佐藤理夫(福島大理工) 三苫好治(県立広島大学)
P5-03	ミニフィールド装置を用いた汚染土壌からのセシウム除去のオンサイト実験	佐藤久子・山下浩(愛媛大院理工), 大森大輔((株)ダイキアックス), 田村堅志(物材機構), 山岸皓彦(環境測定品質管センター・東邦大医), 森田昌敏(環境測定品質管センター)
P5-04	A型ゼオライトを包埋したアルギン酸膜のCs+イオン交換特性の評価	○渡邊 隆也(福島高専専攻科), 蛭田 愛未(福島高専), 加島敬太(小山高専), 羽切 正英(福島高専)
P5-05	福島県内で捕獲された放射性物質に汚染されたイノシシの発酵(軟化)処理	○土谷 光重((一財)日本環境衛生センター), 大迫 政浩((国研)国立環境研究所), 長岡 諭志・疋田 尚美((一財)日本環境衛生センター)
P5-06	熱力学平衡計算を用いた除染廃棄物中の放射性セシウムの焼却時の挙動推定	○由井和子・倉持秀敏・大迫政浩(国立環境研究所), 森重敦・羽染久(JESCO)
P5-07	金属イオン含有水を用いた水熱処理法による模擬汚染焼却灰からのCs回収	○中村建翔・張麗娟・針貝美樹・稲葉優介・竹下健二(東工大原子燃料サイクル研究ユニット)
P5-08	有機酸を用いた水熱処理法による粘土鉱物からのCs除去	○張 麗娟・針貝美樹・稲葉優介・竹下健二(東工大 原子燃料リサイクル研究ユニット), 石山達也・坪根 剛(JFE環境)

P6-01 (欠)

P6-02	新規なFe(III)-Cu(II)フェロシアン化物の構造、及びその生成機構とCs ⁺ 吸着機構について(HSAB原理による考察)	○鶴原 壽・結城 英二・佐藤 充宏・妹尾 幸一(大栄環境グループ 三重中央開発(株))
P6-03	宮城県丸森町森林エッジでの空間線量率・土壌内セシウム分布・バイオマス中セシウム濃度の変動	原田茂樹(宮城大学 食産業学部), ○市川 健・進藤 秀((株) 復建技術コンサルタント)
P6-04	除去土壌等保管容器の長期保管に伴う特性変化に関する調査研究	○高橋勇介(福島県環境創造センター), 澤井光(茨城工業高等専門学校)
P6-05	放射能心理学により分類されたリスクコミュニケーションの構成	○大谷浩樹・千葉菜穂美・中村友香梨・宮崎綾乃・鍵谷美稀(帝京大学)
P6-06	ベントナイトによるミミズへの放射性セシウム移行抑制	○杉原輝俊・熊沢紀之(茨城大学大学院理工学研究科)
P6-07	風評被害に関する消費者意識の実態調査における放射線知識の時系列変化	○島内恭子・樋口洋子・中山和美(東京電力ホールディングス(株))
P6-08	大型ライシメータを用いた除去土壌の有機物溶出特性に関する検討	○中村公亮・宮北賢治・新井浩之・遠藤和人((国研)国立環境研究所)